

## コロナ禍における緊急アンケート（各種団体等）調査結果報告

### 1 調査の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度における議会報告会・市民との意見交換会の開催を中止したことから、本アンケート調査を実施することにより、コロナ禍における市民の声を聴く機会を設けることとした。

### 2 調査対象

大阪狭山市内で活動する団体等（地区長会、市PTA連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、市民活動支援センター「しみんのちから」掲載団体、計163団体）

### 3 調査方法

各種団体等の代表者あてに郵送するアンケート調査票を、同封する返信用封筒により回答いただく。

4 調査期間 令和2年(2020年)11月1日から同月30日まで

5 回答団体数 105団体

## アンケート調査結果

### I コロナ禍における団体等の活動や運営について

〈質問〉新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、団体等の活動や運営に影響が出ていますか。

〈回答〉

回 答 事 項	件 数	割 合
影響が出ている	85	80.9%
あまり影響は出ていない	19	18.1%
わからない	1	1.0%

〈具体的な影響〉

- 練習が数ヶ月できず、また6月の大阪府、大阪狭山市の2回の合唱祭が中止となり、発表の場がなくなった。7月より練習を再開したが、練習場所の確保が課題となり、多数の会場を必要とするため、費用も多く必要となった。
- 出席率が減少して、来年度は退会する方が出そうです。
- 練習場が制約があり思ったように確保できない。今年6月の演奏会ができず、各団体の発表の場がなかった。
- 熟年大学等で市の施設が閉鎖され、年間の1/3の授業を休校とした。また、再開後も利用人数制限により、2部制授業を余儀なくされた。
- （教室が3密で使用できず）さやか公園を主に活動しておりますが（冬の時期のみ教室を開設）教室を開設できず、参加者も減少しております。参加は無料にて行っておりますが、コロナ減少を確認しております。
- 北小体育館を使用していますが、換気のため窓・扉を全開にし、使用箇所の消毒のほか、感染防止ガイドラインを制定し、マスク着用、手指の消毒の徹底など、感染防止に取り組んでいます。
- 会場の人数制限が掛かっているため、体験談発表に影響が大です。
- コミセンが休館になり使用できなくなった。4ヶ月間イベントを休んだので参加者が減った。再開しても定数が半分になり、利用者の選別に困った。10/3から定数が戻っても3密の関係で参加数を増やすことができない。
- 合同練習ができないためコンサートの中止をした。
- グループ練習ができなかった。（公民館）
- 会員や市民対象の事業が実施できない点（定員制限があるため、保健センターをいつも使用させているため）
- 茶会やそのための準備などで蜜を避ける様に、又、手指消毒などの徹底などと茶碗の熱湯消毒の実施などすべての事で影響がある。
- 連盟としては、交流大会、市長杯、連盟杯の3大会があるが全て中止した。連盟には7クラブあるが、一時中止していた競技を10月から始めている。
- 4月・5月以外は市のガイダンスに沿って開催。
- 公民館使用規制による規制（文化活動の集団発表機会の消失が大きい）

- ソーシャルディスタンスが取れる大きな会議室（公民館）が少ない。社会教育センターに変更して利用している。
- 一度句会を中止した。しかし、風輪寺本堂はスペースも十分あり、コロナ対応をして句会を続けている。
- 教室の3蜜対応で入室制限、一現在は緩和された。
- 今年度は中止しています。
- 一般の人のホテル見学を中止
- 大会等の中止などで子どもたちの試合が減少
- 利用している公的施設の使用制限があり活動を休止している。
- 子どものための別館は？の一回切りで府から利用禁止、子どもらの食事会もできない（これは仕方ない！）スーパーのカゴ消毒は「オークワ」しかしていない、せめてカゴ手さげ、カートのグリップ消毒を議会が要請して欲しい。狭山は感染42人、多い。
- 史跡めぐりは20人くらいの人を引き連れてガイドするので3蜜になりハイキングはできない。
- クレマーな大人は来てほしくない！子どもはスリキズを負うぐらいに大勢来て遊んで欲しい！
- 開催日の自粛
- 練習場所に制限が出ているため、全員で部屋を使用することができない。地域や施設のイベントが中止になり、自粛となった。
- 茶会が開催できなかった。（芸術祭、池まつり）
- 各施設・各小学校に訪問を行い、クラフト作成指導等が中止になった。
- 展示発表ができなかった。
- 交流試合等が全くできない。各リーグとも大阪狭山市内に試合相手がない。
- 今年2月以降、コロナのため、コミセンの使用が10月頃まで不安定だったので、まともに例会が持てなかった。
- 令和2年の新規会員の募集を令和3年に繰り延べした。現会員の活動を4～8月中止、9月より少しずつ活動を始める。
- 対外試合、出稽古ができなくなっている。
- 毎年依頼のある施設での公演方法を検討（工夫）して開催しています。人数制限をして2回同じ公演をする等。ソーシャルディスタンスを保つために道具を購入した。
- 慰問の依頼がない。各イベントが中止になっている。
- カラオケ大会ができない、会場が借りれない、申し込んで取り消し。1年前に会場を予約して近づいて取消のくり返し
- 合唱祭は中止となり、7月から再開した練習も舞台に立つ目標がない。マスクを付けての練習は大変です。練習場所もいつもより広い場所で練習しています。
- 会議やサークルなどの活動場所が制限された。公民館等の公共施設は広い部屋を使わざるをえなくなり、会場費が以前より割高になった。
- 総合開会式、各市長杯大会、身体測定会などの事業開催を中止。大会、教室を開催する場合には、規模の縮小及び感染防止のための消毒で手間と経費増
- 月1回開催している委員会、年1回の総会が開催できなかった。3月に予定していた「フードライブ」のイベント、4月のさやま池まつり、11月の産業まつりでの啓発活動が中止になった。

- 〈狭山コミュニティセンター〉教室の部屋使用后、テーブルやイスの消毒を実施している。エレベーターも4人しか乗れないので、5人中1人は階段（3F）を降りている。会員が高齢、80歳を超える人、足の悪い人がいるので、万一階段で転ぶと大けがになる。
- Social Distance のため、公民館活動の部屋を一番大きい集1、多目的室しか使用できず、使用料が高いため、今までは月2回のクラブが月1回にしました。
- 毎月1回サヤカホールで勉強会を実施しているが、コロナ禍の関係で3密回避のために3月から会議室変更で大変困っている。サヤカホールの会議室が予約できず（6カ月前の予約）、コミュニティセンターでやっと実施できたりして苦労している。（20名程度収容できる部屋）
- 会員の減少。新型コロナウイルス感染症のため、参加を考える会員が多い。
- 現在、大阪狭山市で活動する11団体が加盟する活動の各施設（公民館、サヤカホール、コミセン）の会議室（教室）を年間利用し、コロナの影響で4月～5月は利用中止、6月からソーシャルディスタンスで各教室の定員は半数に制限されました。6月以降、教室を利用するには、教室の参加数を満たす教室へ変更するため、教室変更にもなう利用料金が倍かかる。（経費問題が発生）
- テニス大会中止。社会教育活動中止。各事業の規模縮小
- 総会及び主だった活動ができない、または制限されている。
- SAYAKA ホールでの通常総会が開催できず、インターネットによる電子総会となった。日曜日の活動が制約された。"
- 展示会 公民館等の会場が利用しにくかった。退会者も出て会の運営も厳しくなる。
- 地域によっては、他地域との接触を避けるため、大会の中止が多い。公共の施設（学校・スポーツ施設）の閉鎖による活動の休止。（現在は回復）
- 連盟展は、現在11団体が加盟しております。毎月定例代表者会議（12名）と開催していましたが、コロナ禍の影響で4～5月は中止、6月からはソーシャルディスタンスで人数制限を受け、会議ができない状況で、事務局よりメールで連絡事項のみ取り合っております。例年の活動は、ほぼ中止状態で、12月の連盟展のみ活動を予定しております。
- 自粛後はサタデースポーツも再開でき、感染拡大防止に留意しながら、練習そのものの活動はしていますが、桜まつりや総合開会式等、市主催のイベント等における発表や参加できる機会が今年度は一度もなく、少しさみしい活動の現状となっております。
- 支部集会、お誕生会、支部大会、春秋のバスツアーはすべて中止
- ホールを使うため、感染予防対策に苦慮している。音楽家の活動の場が極端に減っているが、支援の手段が見出せない。集客に苦慮されている。企画自体の延期（第九公演は2回の延期）を余儀なくされている。
- 活動もできず終了となりました。以前にもご連絡させていただきましたが、活動は終了しております。皆解散しました。よろしくごお願い致します。
- 会議の開催時間等について限定を余儀なくされている。
- 被後見人の入所施設への訪問制限、成年後見の普及活動が困難になっている。
- まちづくりの全般に亘って、人と人との交流を基本とした事業を遂行するため、3密をはじめ、ソーシャルディスタンス、新しい生活様式等々の確保が難しく、

全ての事業に影響が出ている。

- 各福祉施設や各自治会のサロン回答への慰問（毎月）休止中（日本民謡の唄、三味線、尺八生演奏）
- 道場の施設を使用できず、運営をストップせざるを得なくなったりした。
- 利用者減による減収（且つ人員配置と固定費は変わらず、事務費等の支出は増加）、マンパワーの不足と偏り、消耗（会議・研修・行事・広報がほとんどできなかった。事業部や職種による負担の差）
- 密を避けるため、協議会として一堂に会することができず、3グループに分けての会合を持っている。
- おけいこ事認識しかない日本の伝統文化の指導をしてきた年中～60代、70代の方のそのほとんどが退会していきました。日本に古くから伝わる伝統文化の保持に日々力を注いできました。「礼儀・礼節」という日本にしかない教えを、武道を通して青少年を育成してきましたが、その灯が消えようとしています。
- 体育館や施設の使用制限の時期は、武道の稽古ができなかった。会員が減少した。（集合しての稽古ができなかった）海外との文化・武道交流イベントが開催できなかった。
- 各種行事・活動の中止・延期・制限
- クラブ全員での活動ができない。（陶芸室の密を避けるため、入室人員数が限定されているため）
- 講習会や食育イベントの中止や延期が多くなっている。
- 事業等の中止、規模縮小。イベント中止による活動の中止等
- 活動が休止されたまま
- まちづくり大学等、参加者募集が中止になった。ミーティングルームの使用人数に制限がある。印刷する団体が減っている。
- 個人個人の生活に対する支援が届き難くなるのは、全ての人の問題だと感じています。特に当法人の活動に限定して課題や影響があると言うよりも、ユニバーサルな支援に対する影響をこそ考えていただきたいと思います。
- シャドウのみの指導で相手に伝わりにくい場合がある。コロナウィルスで休む方も出ている。
- ご利用者様の利用頻度が減った。内職作業の減少により工賃原資となる売上が減った。
- 試合や練習などの活動が減り、4月5月と休業したので収入の面で影響が出ています。
- 集会所で毎月1回65歳以上の独り暮らしの方の食事会を実施していましたが、3月より中止しています。
- 新型コロナウイルスのため、社会見学、健康講座、料理教室等々、すべて行うことができませんでした。ボランティア活動少しは参加できました。
- 令和2年2月以降、事業計画はすべて新型コロナの流行により中止とし、実施は極めて困難となっている。
- 第1波時～すべての地域活動が停止、収入が途絶えた→持続化給付金の取得でしのげた。第3波（現在）～府民への要請が高齢者含む府民に届いていない。高齢者として、また活動を主催する者として対応に苦慮している。中高年のボランティア活動が地域に果たす役割は大きく、そのことと”府民への要請”をどう考えるか？

- 寸劇やセミナー、勉強会の開催が延期または中止となっています。また成年後見制度の普及・啓発のための広報活動にも影響が出ています。
- コロナ感染拡大防止のため、次々とイベントが中止され、里山活動において作成し販売している竹炭や竹酢液、粃殻くん炭等が残っている状態。イベントに向けて栽培している野菜等もすべて売れ残り、苗代や種代の回収もできず、小学校への出前講座もできず、会員の意欲低下につながる。
- 書道協会展の中止、理事会の中止
- 屋外スケッチを行う場合、遠方まで公共交通機関を利用して出かけることを止め、近くの公演、神社で行っています。美術室においての製作活動も会話が少なくなり、楽しさが半減以下になった。
- 手洗い、消毒、うがい、マスク着用の徹底や密を避けた送迎などに時間が必要になっています。
- 居場所を聞いているが、外出を控えることで参加を控える人が増えた。再度、足を運ぶまでに至れず、利用者も減り、居場所の維持経費を捻出していくのが難しい。

〈質問〉貴団体にとって、必要とする具体的な支援があればご記入ください。

〈回答〉

- 文化活動に対する費用面の補助があれば（会場費、演奏会の費用等）
- サヤカホールの部屋の使用人数を増やしてほしい。
- 物理的な支援は特に望まないが、国→府→市の方針を待つだけでなく、できる範囲で市としての指針を率先して示してほしい。
- コロナの時期だからこそ、運動不足、精神的疲労等、心と身体の健康のためにも、広報、老人会、各自治会等に参加を呼びかけて下されば幸いです。
- 冬場の活動時の体育館の暖房器具の設置（換気しながらの活動となるため）  
施設消毒用の次亜塩素酸水の定期配布（使用再開時に1本配布あり）
- 公私とも施設の全面利用人員の制限解除を希望します。
- 参加数が減り、売り上げが減少しているので施設使用料は無料にして欲しい。
- 練習できる広い部屋を必要とする。（公民館は大集会室のみ）
- 広い和室あれば便利
- 現在、公民館を使用させて頂くようになりました。（11月より）会場費が必要になりました。保健センターのありがたさを感謝しています。
- 今頃に「緊急」は遅い
- ホテル見学の車の整理
- 児童の口元が見える透明マスクを全児童に配布
- 感染対策用品
- 公的施設の予約、支払いに関する手続きのデジタル化が利用者側に立っていない。
- 議会は「責任外」としているように見える。相談・支援・学校問題など、専門家の応援を得て「相談会」をコミセン等で開き、マスク、アルコール等の配布を！

議会の枠を越えて働いて欲しい。我関せず・・・に見える。

- やはり色々なことに使う補助金が必要です。
- 自然の保存を維持・管理すべく、全ての応援（各種）！
- ICT&PC サポーターの育成
- シルバーアドバイザー受講費補助金、受講推進
- サヤカホール小会議室を利用（6ヶ月前に予約ー規定ー）させてもらっていますが、6ヶ月1日前に予約できると安心ですが。（ここ10年ぐらい6ヶ月前に予約の形をとっています）
- 安全、安心できる環境のもと、活動したく、早期ワクチンの完成他
- マスク、消毒液等、コロナ感染防止に役立つ物を支給お願い致します。
- コロナ禍により市立の会館等、人数が制限（利用人数）されていますので利用料の減額をお願いします。
- ボランティア団体なので会員が入ってこなくても最低限の費用は必要。先日の支援センターからの消毒液やマスクの配布は助かりました。
- ソーシャルディスタンスを保つため、広い部屋を借りています。施設利用料を援助してほしい。
- 公民館等の公共施設の使用料を減免してほしい。
- 事業中止、規模縮小による補助金返還を免除。事業中止による経費の補填。
- 会議はWEBで実施すればよいが、イベント系はどうしようもない。コロナが収束しないことには不可能だと思っています。
- サヤカホールの20名程度収容の会議室が3密の関係で2階の大会議室、一部屋しかなく、予約で満配であることが多い。市役所南館の講堂は利用できないですか。
- 以前のようなマスク、消毒液の配布等
- ソーシャルディスタンスによる教室の人数制限び伴う利用料金の補助申請（大阪市はすでに実施されている）制度化を望みます。
- 事業中止、縮小による経費マイナスの補填
- マスク・消毒液の配布は助かりました。
- ソフトボールは非接触スポーツなので、接触スポーツと分けし、学校等の使用について寛容で頂きたい。
- 加盟する各団体活動も人数制限が、6月～定員半数、10月より定員の100%以内となりましたが、今後の第3波も予想され、定員を満たす各施設への利用料金補助申請をお願いしたいと思います。
- 一日も早くワクチンやお薬の開発と普及を願い、今まで通り、たくさんの方が集まるイベントで華やかな活動ができるようご支援お願いしたいです。
- ほとんどの会議はコミュニティセンターを利用～無料にしてほしい。
- 市役所に出向き、個別にお話をさせていただいたこともありますが、ほとんどの議員さんは、文化への関心はあまりないと感じました。当会の会員の議員さんも中にはおられますが。
- 子どもの貧困、生活保護の施策が見えない。社会福祉協議会に委託するのではなく、大阪狭山市が生活困難な市民に寄り添う施策に重点を置く支援
- 大阪狭山市は昨年、市長申立件数が0件と聞いています。（成年後見）認知症の高齢者の支援・安心をどう担保していくのかの施策を取り組んでほしい。
- 感染拡大防止へ市民の皆様「防止等の呼びかけ」強化、生活に影響の出ている

人への支援と発掘をお願いしたい。

- 伝統芸能につき、皆様から好評をいただいております、少しでも早くに再開させてもらいたい。
- 武道や芸術・文化を次世代に残せるよう、指導者の支援金や対策があればよいと思う。
- 日頃からの各所現場に足を運んだり直接聞き取りをされたりという活動を止めないでください。
- 武道はスポーツとしてではなく青少年の育成に大変な心の影響を及ぼします。日本にしかない伝統文化の指導者としても継承していけるよう文化支援「人となり育成」支援金をお願いします。
- 料理講習や講話のときにマスク着用するため、声が届きにくいこともあるので、ハンドフリーのマイクがあれば便利かなと思います。
- 定例会や活動の際の会場の確保や利用料の負担など。(コロナで3密対策のため会場が取りにくい) Wi-Fi 環境やポケット Wi-Fi の貸出などネット環境の整備
- 密にならないよう工夫はしているが、冬になると湿度不足が心配ですから、加湿器の導入
- 誰もが安心して面談ができる場所があればよいと思います。コロナ対応を含む感染症対応の場が今後とも必要と感じます。
- マスク (車で来られてマスク忘れなど)
- 内職作業、清掃などの外作業などの発注 (パソコンを使ったチラシ作成等も)
- 市からの受託事業を増やしてほしい。(就労支援 B 型)
- コロナの影響で広く場所を取って活動するため、場所代 (グラウンド代) や照明代が、例年の2倍かさんでいる、割引などあればありがたい。
- 現在の感染状況を見るに、当クラブとしての活動は困難であり、特になし
- 私たちだけでなく、中高年層が中心となる市民活動全般について必要なことは、例えば” 府民への要請” など、さらに詳しく、直に市民住民への説明が必要。ともに考える早急な対応が必要。
- Zoom などを使用した制度の普及・啓発活動する場の提供、支援があれば助かります。
- 各種イベントの開催を希望します。
- 美術室を利用するとき、窓を開放しているので寒い。何か対策がないでしょうか？
- 消毒液と介護用手袋、コロナ対策用空気清浄器を支給してほしい。
- 当事者が利用している居場所の家賃補助



## Ⅱ 市議会の情報発信と情報共有について

〈質問〉市議会主催の「議会報告会・市民との意見交換会」を年に2回開催していることを知っていましたか。

〈回答〉

回 答 事 項	件 数	割 合
知っていた	56	53.3%
知らなかった	45	42.9%
無回答	4	3.8%

〈質問〉「議会報告会」は、どのような開催方法であれば参加しやすいですか。  
(複数回答可)

〈回答〉

回 答 事 項	件 数	割 合
出前報告会	42	34.1%
休日の開催	33	26.8%
夜間の開催	14	11.4%
その他	19	15.5%
無回答	15	12.2%

〈その他〉

- 市政報告での文化面での報告が少ない。分科会に分けてはいかがでしょうか。
- 時間の制約があると思いますが、テーマを市政とか文化とかに分けて意見交換が必要では。
- 今のところ参加の必要性が見当たらない。
- 議会内容による
- ズームなどの活用
- 開催方法が問題ではなく、重大事(近大病院)の件とかが発生したら参加したい。
- 不要。議会は投票で議員に一任している。
- コノミヤの前などで議会報告会を!
- 各委員会の録画中継をお願いします。
- 広報誌もあり特に参加希望しない。
- 当団体の会員で大阪狭山市在住の方も多くおられますが団体としては参加していません。
- 月報の郵送

- 議会報告会をもっと積極的に知らせてほしい。
- 定例報告会に参加
- 意見は項目ごとのため、違う意見は言えない。議会のマイクが聞きとりにくい。
- 市広報での報告は読んでいるが、それ以外にどのような報告や意見交換が可能な  
のか？
- 広報で知らせる。
- オンライン開催
- 現下の状況を踏まえると実施は困難と思える。

〈質問〉 議会録画中継をご覧になったことがありますか。

〈回答〉

回 答 事 項	件 数	割 合
ある	19	18.1%
ない	79	75.2%
無回答	7	6.7%

〈質問〉 議会を生中継でご覧になりたいと思いますか。

〈回答〉

回 答 事 項	件 数	割 合
思う	54	51.4%
思わない	42	40.0%
無回答	9	8.6%

〈欄外に記載のあったもの〉

- （議会生中継について）テーマにもよるが、通常の議会なら、特に生で見なくとも、広報の議会だよりでいい。
- 議員は、コロナ禍も天災も我関せず・・・の観。堺市などは違いますぞ！
- 本会議場（代表・個人質問）でのマイクのボリュームを少し大きくお願いします。（聞きとりにくいのため）
- このようなアンケートを実施されているのは（議会にとって）初めてです。さすがだなと感心いたしました。
- もはや市民活動は弱体化し、市民協働の時代ではないかもしれません。団体は専門化、孤立（個別）化し、かつてのリーダーは不在。様々な困難、不安、孤立にあって、支援や協力の要る児童・家庭にどのように出会いつなげていくか、来るべきさらなる危機にいかにかに備えたらよいか……。自団体が力不足で情けないが、考えようとはしています。でも動けません。近い将来、どんな公益的取組の展開

が必要かつ可能か、現状の児童福祉事業・活動を質量を保ちながら維持・継続していけるのか、不安は大きいです。

「緊急」アンケートが郵送のやりとりで月末が締切というのが少し（かなり）面白かったです。オンライン化で、つながりが拓けていけばよいですね。

○形式的なアンケートで終わらないでください。